

# こども演劇教室 2018 演じるってなんだろう？

## アンケート結果

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

2018 年 8 月に開催した「こども演劇教室 2018 演じるってなんだろう？」の開催終了後、演劇ワークショップがこどもの生活をどのように豊かにするのかを明らかにすることを目的に、アンケートを実施しました。参加者の許諾を得て、結果を公開させていただきます。

アンケート実施日：2018 年 8 月

回答数：参加者（児童）：25 人、保護者：22 人

### ■参加者（児童）

1) 普段、どんなことをして遊んでいますか。

室内：

- ・ 割と活発な活動：妹と劇を作る（1 人）、「踊ってみた」の振りコピ
- ・ 割とおとなしい活動：トランプ（2 人）、カードゲーム（3 人）、モノポリー、ゲーム（5 人）、テレビゲーム（2 人）、任天堂スイッチ、スマホゲーム（5 人）、読書（4 人）、脚本を書く、ボトルフリップ、テレビ、YouTube、友だちと話す

屋外：

- ・ 割と活発な活動：友だちと外で遊ぶ（2 人／内容について記されていないため、外で遊び活動の中でもおとなしい活動の可能性もある）
- ・ 割とおとなしい活動：友だちと映画やショッピング、友だちとどこかに行く

そのほか：

- ・ 寝る（2 人）

無回答（4 人）

2) 趣味や特技を教えてください。

室内：

- ・ 割と活発な活動：歌唱（5 人）、ピアノ（3 人）、ダンス（3 人）、演劇（2 人）、ドラム、ものづくり、競技かるた、合気道、卓球、水泳、縄跳び、動いていること
- ・ 割とおとなしい活動：読書（7 人）、絵を描く（3 人）、英語（2 人）、ゲーム（2 人）、料理、物語の創作、観劇、点字を打つこと

野外：

- ・ 割と活発な活動：野球、テニス（2 人／室内の可能性もあり）

- ・ 割とおとなしい活動：なし

無回答（2人）

3) 嫌いなこと、苦手なことは何ですか。

- ・ 割と活発な活動／身体を使用する活動：運動（9人）、球技、鉄棒、柔軟
- ・ 割と考える活動：勉強、数学（2人）、国語、現代文
- ・ 記憶を求められる活動：踊りを覚えること
- ・ 対人関係：人前で話すこと（3人）
- ・ 緊張する活動：本番を迎えること（緊張してしまう）
- ・ 特になし（2人）
- ・ 無回答（1人）

注：趣味で卓球やテニスと書きつつ、運動を苦手とかく子もいた。

4) 演劇教室の活動は楽しかったですか。

（5段階評価：1が「楽しくなかった」、5が「とても楽しかった」）

- ・ 3を選択：1人
- ・ 3と4の間を選択：1人
- ・ 5を選択：22人
- ・ 無回答：1人

5) 新しい友だちとたくさん話すことができましたか。

（5段階評価：1が「あまり話せなかった」、5が「たくさん話した」）

- ・ 4：4人
- ・ 5：19人
- ・ 無回答：2人

6) 将来、役者さんになってみたいと思いましたか（5段階評価）。

（5段階評価：1が「ぜんぜんなりたくない」、5が「とてもなりたい」）

- ・ 2：2人
- ・ 3：5人
- ・ 3と4の間：1人
- ・ 4：9人
- ・ 5：6人
- ・ 無回答：2人

7) もう一度、このような演劇教室に参加してみたいと思いますか。

- ・ はい：22 人
- ・ はいといいえの間：1 人
- ・ 無回答：2 人

8) 演劇教室に参加してよかったところはどんなところですか。

仲間に関すること

- ・ 友だちが増えた
- ・ 初対面の人と仲良くなれた
- ・ 新しくできた友だちと遊んだり、話したりできたこと
- ・ いろいろな人と関わったところ
- ・ いろいろな性格の子たちと演劇を作ったこと
- ・ いろいろな価値観とかがみれた

自分の性格や能力に関すること

- ・ コミュニケーション能力が高くなった
- ・ 考えるがよくなったと思う
- ・ 人前で演じることが前よりも楽しくなった
- ・ 人前で話すことがちょっとできるようになった

協働活動に関すること

- ・ みんなと一緒に演劇ができてよかった。お客さんに楽しんでもらえたので、とても嬉しかった
- ・ 少しの間で協力して物語を作れたことがいい経験になったところです

演劇そのものや演劇の知識や技術に関すること

- ・ 劇の作り方がわかった
- ・ 演劇のことをたくさん考えられた
- ・ 少しの間、本当に俳優さんになった気がした
- ・ 演劇部にいるので、とても勉強になった。先生の「イメージの共有」という言葉にとっても考えさせられました
- ・ いろいろと普段分からないことが知れて感心しました。また自分たちでも劇を作るに当たって、いろいろとアドバイスをもらえて良い経験になりました
- ・ 自分と同じ演劇に興味のある人に出会え、人生で初めてプロの先生からご指導をいただけたこと。また、短期間ではありましたが、とても素敵な劇を作成させていただいたこと。

- ・ 演じることについて初めて学べた
- ・ 「演じる」ことについての考えが変わった
- ・ 演劇の作り方を一からたくさん学ぶことができた
- ・ 友だちがたくさんできて楽しかったし、いっぱい話すことができてよかったです
- ・ 今まで学校でやっていた演劇は、台本があって 2 週間ぐらい練習してだったが、今回は短時間で会った人たちと作って楽しかった
- ・ 演劇について詳しく知れたところ
- ・ はじめて演劇というのをして、いろいろな身についたことがあった
- ・ 普段は、なかなか「演じるプロ」に演劇を教えてもらえないが、教えてもらういい機会だった
- ・ 演劇は恥ずかしいからあまりやらなかったけど、いざやってみると面白かった
- ・ オリザ先生に「こういうことをする」など教えてもらったから、自分たちで劇を作れた

そのほか

- ・ 考える側にもなれたからよかった

9) 他に感想があれば教えてください。

- ・ 平田オリザ先生の話がとてもわかりやすく、面白かった。とても勉強になったので、どこかでこれを活かしたい
- ・ みんなで台本を考えてことがなかったので、難しかったです。でも、すごく楽しかったので、またやりたいです
- ・ とても勉強になりました
- ・ とても楽しかった。また来たい
- ・ 素敵な経験をありがとうございました
- ・ 先生の話がとても分かりやすかったです

#### ■保護者

1) お子さんは、今までに演劇などの舞台芸術に参加したことはありますか。参加したことがあると答えた方は、どのような活動をどのくらいの期間（例、週 1 回 1 時間ほど）されていたのかを教えてください。

- ・ 参加経験あり
  - 昨年の夏、せたがやこどもプロジェクトのワークショップに参加
  - 小 6 年生のときに、東京都主催の「ヒカリの王国」という舞台のワークショップに夏休みに参加。小学館レクリエーションクラブで週 1 回程度活動中
  - 児童合唱団。週 2 回 3～5 時間ほど

- 小学校の時に文化祭の演劇に参加。準主役の悪役を演じ、舞台上でソロを歌いました。それから演劇に興味を持ったようです
- 中学校の同好会で週 2 回くらい
- 週 1 回（90 分）の演技レッスン
- 子どもの城での合唱劇など。週 1～3 回（各回 2～3 時間）の 3 か月ほど
- 演劇部に在籍。世田谷区の中学生演劇ワークショップ（夏休み 4 日間）に 2 度参加しました
- 小学校の時に演劇部（週 1 回 1 時間）、中学校で英語演劇部（週 3 回）
- 劇団（週 1～2、4 時間ほど）、市民ミュージカル（半年週 1 回 5 時間ほど）
- 金曜と週末の 3 日間で劇の創作と発表を行う活動に 2 回参加
- ・ 参加経験なし：11 人
  - 全くはじめてなので、参加前はとてもナーバスになっていました
  - 演劇部に入りたかったようですが、学校になかったようです
  - 舞踊はあり（新体操 2 年間週 5～6 時間ほど、部活ほか）

2) 毎日後自宅へ戻られた後、お子さんは、演劇教室での新しいお友達との出会いについてどんなことを話していらっしゃいましたか。

- ・ 出会いについては何も言ってませんでした。内容については、当日まで秘密とって隠していました
- ・ ペアを組んだ子の話を聞いて、いつの間にそんな時間があつたんだろうと。
- ・ 1つの物語を作るのにいろいろな感じ方や考え方があり、まとめるのが難しかったです。
- ・ 新鮮で前向きな出会いだったようで、「ぼくの班はすごくバランスがいい。みんなうまく役割を分担できている。楽しい」と言っていました。参加前は、とてもナーバスになっていたのが、嘘のようでした。1日目のいろいろなコミュニケーションゲームがとてもリラックスできたようです。人との出会いや、ある機会との出会いは成長期の子供の世界をガラッと変える力があると思うが、今回参加させていただいて、本当に良かったです。
- ・ 個性豊かだと言っていました。少し仲良くなれる自信がないも言っていたので心配していたのですが、楽しくできたようで何よりです。
- ・ 男女関係なく刺激をいただいた様子です。
- ・ 中3で年長者になるかと思っていたのですが、年齢に関係なく、楽しく過ごせたようです。
- ・ やはり自ら演劇に参加を希望した方々は、皆やる気が違うと感心していました。わんぱくな小学生男子もいるとは言っていました。基本、みんな演技がうまいと驚いていました。
- ・ みんなで劇を作り上げることが楽しいようでした。目をキラキラさせて「明日も楽しみ！」と言っていました。

- ・ 初めて会うメンバーで意見を出し合うことはとても難しいことと思いますが、積極的にコミュニケーションをとれていたようです。
- ・ みんなやる気があって良いと嬉しそうでした。
- ・ 今回は台風もあり、短い時間しかなかったのであまり話はなかったですが、やはり女の子が先頭に立って進めてくれたみたいです。
- ・ 新しい環境、考え方のお友達が多く、とても新鮮だと話しておりました。なるべく年少者の友達の意思をたくさん聞けるよう心がけたそうです。
- ・ 人見知りなので、短時間でお友達と打ち解けるまでは難しい子どもですが、ワークショップを通じて年齢の違うお友達と楽しく過ごせているようでした。反抗期なので、事細かに聞けませんでした。
- ・ もともと口数が少ない子なので特別何か言うことはありませんでしたが、1、2日目ともに、帰宅すると、ノートに今日の内容と反省・感想をびっしり書いてました。
- ・ 連絡先を交換したとか、誰がどんな意見を言ったなど、いろいろなキャラの人がいて楽しいと。
- ・ 初日より友達ができたと話してくれました。みんな経験者ばかりで上手だと話していました。（なので、自分が一番下手だとも言っていました）
- ・ それぞれのお子さんのアイディアやキャラクターを楽しそうに話してました。とてもワクワクして、平田先生の話もしました。
- ・ どうだったと聞くと、毎回「楽しかった」とパッと笑顔で答える娘でした。年齢の違うグループで、ほとんどゼロから創り上げていく楽しさを実感したようです。年下のお子さんとも、目をキラキラさせて物語について活発に意見をいう姿に、とても感銘を受けたようです。
- ・ 他の子がどんな活動をしているか、家族のことや好きなこと、学校のこと、などどんな友達ができたか、どんな考えがあって学校を選んだかなど、年齢の近いお友達だったので、いろいろな話をしたようです。「もっと一緒にやりたい」と毎日話していました。
- ・ あまり話しませんでした。ワークショップのことはよく話していました。
- ・ 未回答：1人

3) 毎日後自宅へ戻られた後、お子さんは、演劇教室での演劇活動についてどんなことを話していらっしかったですか。

- ・ 具体的にはいってませんが、楽しんでいました。
- ・ とても楽しくためになる時間だったようです。
- ・ 今まで体験したことのない演劇についてのことがとても良い刺激になったようです（表現以外の部分）。

- ・今日はどんな活動をしたのか、何が面白かったのか、同じ班の子がどんな子か、よく話してくれました。オリザ先生の話がとても面白かったと言っていました。
- ・演劇に一見関係のないゲームをしたり、思っていたよりも面白いと言っていました。
- ・ストーリーを考えるのが大変だと言いつつも、楽しそうでした。
- ・1日目、楽しいと話してくれました。活動したことを具体的に話してくれました。
- ・台本を自分で作ることに当初は戸惑ったようです。ただ、このような作り込みには非常に興味を持ったようです。
- ・オリザ先生のお話や劇を作る過程を詳しく話してくれました。聞いていて、とても楽しくなりました。
- ・本当に楽しみにしていてねと言って、詳しいことはまだ聞いていません。
- ・演劇を本当にやりたい人の集まりなので楽しいと言っておりました。
- ・台詞を覚えられるか不安と話していました。1日目に「オリザ先生楽しいし、分かりやすい」と話していた顔が嬉しそうでした。
- ・見えないものを見たいというお話がすごく印象的でした。また、良い演出、悪い演出についてとても勉強になったと申しおりました。
- ・脚本を書くときは、イメージしやすいものからしにくいものへと考えると良いと、先生がお話されたと聞きました。
- ・話すことはなく、ノートにびっしりでした。
- ・今日はこんなこと考えた、こんな台詞を言おうと思うなど、いつもの日常とは違って、考えたことを、楽しそうに話してくれました。
- ・いろいろと自分なりに案が出てくるらしく、「いろんなことを考えているだよね」など、その日にあったことも含めて話してくれました。
- ・男の子なので、細く話してくれませんが、でも、真面目に頑張っているのは、よくわかりました。内容も、「恋愛もの」という一言でした。
- ・平田先生の教えていただいたことや、とても演技が上手なお子さんがいたこと、同じグループの皆さんが面白いアイディアを出すことを話していました。
- ・台詞を言う時、ただ字を追うのではなく、その背景を想像して言葉を発することで、とても本物に近づくことが分かったようです。また、劇団の方が、ちょっと演じてくださった時、その視線、間の扱い方の上手さに驚いたようで、家でも再現してくれました。
- ・カードゲームについて特に話をしてくれました。1～50のカードで、自分は簡単だと思ったけど、すごく難しくて、他の子の話でも、「絶対その番号じゃないと思ったのに」と、自分と他の違いに興味を持ったようでした。
- ・ある台詞に共感できないと言っていたのが印象的です。

4) 演劇教室で、お子さんが普段見せることのない一面を見ることはありましたか。あった場合、どんな一面か教えてください。

- ・ 自分が一番下の年齢だったので、やりやすかったのだと思います。皆さんに面倒を見てもらいながら、のびのびしていたと思います。
- ・ 演じる」とは？ということについてとても理解しやすく楽しかったと言っておりました。演じるということは表現以外にも奥が深いと実感したようです。
- ・ 初対面の子に対しては、だいたい引っ込み思案なのですが、初日から打ち解けたのは初めてだと思います。
- ・ 正直あまりありませんでした。配役も普段の様子や性格がよく感じられました。他のお子さんの普段の日々を想像して、それも面白くありました。
- ・ 積極的に関わる姿、自分から話しかけている姿。
- ・ 夜、台詞を覚えていました。朝、自分から早起きをしていました。
- ・ 本人曰く、もともと普段の生活では活発ではないとのことですが、別の人格を演じることは、自分を開放できるようで、とても楽しいとのこと。私もそう見受けられました。
- ・ もともとマイペースですが、舞台上でもマイペースでした。あまり緊張していないようで、意外でした。
- ・ 自分の意思と周囲の意思が違った時に、悩んだこと、納得して譲歩するというのが、早かった。気のしれた仲間と初めてあったメンバーとで、話し合う時の違いがありました。
- ・ 発表を見て、成長にびっくりしました。1 から演劇を作る楽しさも学んだと思います。
- ・ 普段「自分が」前に出る場面を見ることが多かったのですが、中 3 らしく「聞く」という姿を見るのは、興味深く、ありがたい体験でした。個性の豊かなお子様方とのコラボはとても新鮮で楽しかったです。
- ・ 声のトーンなど、どうすれば役に近づけるか、とにかく考えていたように思いました。
- ・ 初日の全員でのワークショップで、頑張ってグループになろうとしていて「頑張ってるなー」と思いました。
- ・ 次女ということもあり、人前で恥ずかしそうにしていることも多いのですが、楽しそうに生き生きと演じていて嬉しかったです。
- ・ 自分から意見を言っている場面を見たのが意外であった。
- ・ 人前で演技をするようなタイプの子ではないのですが、ちゃんと演技していて舞台の上で台詞を言っている姿に感動しました。
- ・ もともと人付き合いが得意な方ですが、初対面のことも割とすぐに仲良くなれることにはびっくりしました。1 日目のコミュニケーションゲームで、仲良くなりやすかったようです。
- ・ 1 日目のイントロダクションの時に見たお子様たちと違い、三日目の演じているお子様たちが生き生きと楽しそうに演じている様子、微妙な台詞で笑いをとるところなど、とても面白かったです。

- ・ 生き生きしてました。普段もレッスンの後はテンションが高いのですが、目がキラキラしていました。1日目の見学では、まだ恥ずかしそうに自分を出せずにいましたが、3日目の発表会はニコニコ楽しそうにしていたので、よかったです。今回のキャラクターの設定も、娘に近いものだったので、本人もやりやすかったと思いました。
- ・ 同い年ないし、もう少し年上との対話の時、どんな口調で喋るのかを垣間見ました。
- ・ 無回答：2人

5) そのほかに何かコメントがあればお書きください。

- ・ 具体的には言っていませんでしたが、楽しんでいました。
- ・ 皆さんのアイディアにびっくりしたことと、コミュニケーションについて初日のレクチャーが私自身のためになりました。
- ・ 短い時間でここまで作り上げてすごいと思いました。みんなが演じること好きなんだろうと感じました。手助けをしてくれた講師の方々に感謝です。
- ・ 小中学生でこんなに構成力があるのかと驚きました。自分が学生時代に観客として観に行っていた平田オリザ先生の講座に、自分の息子が参加させていただける日がくるとは思ってもみませんでした。今後も「表現する」ことの素晴らしさに気づいて欲しいです。
- ・ 小5～中3というのは5歳ほどの差ですが、当人たちには大きな差のようで、その中で話して何かを作るというのは、たいへん良い経験になったようです。演劇というものの認識も変わったようで、本当に楽しかったんだと思います。私はもう大人ですが、参加してみたかったと思うほどキラキラしていました。
- ・ 演劇の世界は、私には馴染みのないものでしたが、子どもを通して興味を持つことができました。
- ・ どの劇も続きが見たくなりました。今回、参加させていただいた娘は、演劇に特に興味もなさそうでしたが、思いがけず、楽しい時間を過ごすことができて良かったです。普段とは少し違う子どもの様子が見れて嬉しく思いました。今後、何かをはじめることのきっかけになればと思いました。
- ・ ぜひ来年も参加したいとのことでした。学校の演劇部の方針に疑問があったので入部を諦めたとのこと、このような機会があれば助かります。
- ・ あっという間の三日間で、充実し、いろいろなことを吸収できた日でした。このようなイベントに参加でき、とても良かったと感じました。子どもたちのそれぞれが持つ能力を発揮し、導いてくださり、本当にありがとうございました。また、参加したいと親子とも思っています。
- ・ 3日間と限られた日程でしたが、子どもたちだけで1つのものを完成させるというたいへん貴重な体験ができて、本当に良かったなと思いました。演劇を通して、他者とイメージを共有することの難しさ、楽しさを学んでくれたと思います。

- ・ 学校の同好会は、指導者は存在せず、メンバーも少ないため、色々と刺激になったと思います。
- ・ 各班ともに子どもらしく自由な発想でのびのび発表されてて、認めてくださるあたたかなご指導のおかげだなと感じました。短い時間で色々と工夫して頑張っている姿が素敵でした。
- ・ 高校生が参加できるワークショップの開催をお願いしたいです。
- ・ あまり人に関心を示す子ではないので、心配でしたが、「平田先生の作品見たいな」と帰りの電車でボソッとっていました。
- ・ 初対面の友達とどこまで一緒にできるかと心配でしたが、ちゃんと仲間とやっていて安心しました。
- ・ 国語が苦手（読解が苦手）、人前に出るのが嫌い、どちらかというと消極的タイプ、表現力を学んでほしいと思い、応募しました。
- ・ 全てのチームのレベルが高く、本当に笑えました。さすが、平田先生と青年団の方々のサポートと思いました。今回初めて会うお子さんたちと 1 つの作品を作り上げることに、大きな成果を感じました。
- ・ オリザ先生がおっしゃっていた、演じるとはないものをあるものとして伝える。一番難しいのは、人の心を伝えること。このたび、楽しく子どもたちみんなとコミュニケーションをとりながら、演じることを通して、人が考えてること、感じていることについて考えるきっかけになったのではないかと思います。
- ・ 子どもにとってすごく素敵な時間だったと思います。娘の笑顔が見れ、親にとっても幸せな 3 日間になりました。遠方から来たので、子どもだけでも、素泊まりできる場所があると良かったなと思います。
- ・ 未回答：2 人

以上

このアンケートに関する著作権は、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館に帰属します。いかなる場合においても、許可なく複製、転載、頒布することを禁じます。